

- 浅野文庫の和書と漢籍・・・・・・・・・・・・・・・・・・1面
- 30歳になります～安佐南区図書館～・・・・・・・・2面
- 本が泣いています…
大切に扱いましょう！！・・・・・・・・3面
- 図書館員のオススメ本・・・・・・・・・・・・・・・・3面
- 特ダネスナップ
－佐伯区図書館湯来河野閲覧室編－・・・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ1月～3月・・・・・・・・・・・・4面

浅野文庫の和書と漢籍

～中央図書館で企画展と講演会を開催します～

「和書」や「漢籍」というと、どのような本を思い浮かべますか？

「和書」とは江戸時代末までに日本人により著された本のことで、「漢籍」とは古代から辛亥革命の時期までに中国人によって著された本のことをいいます。どちらも東洋古来の方法で作られ、現在の本とは紙質、装訂、印刷技術などに違いが見られます。

中央図書館は、旧広島藩主浅野家から寄贈を受けた和書・漢籍・図記類のうち、疎開により原爆の被災から免れた約1万点の資料を「浅野文庫」として保管しています。和書には「都志見往来日記・同諸勝図」「平家物語」、漢籍には「五経」「史記」などがあります。浅野家の歴代藩主の多くは好学とのことで、浅野文庫には当時でも入手しがたい貴重な資料が多数含まれています。

これまで浅野文庫の目録は昭和39（1964）年に刊行されたものがありますが、このたび、和書・漢籍ともに内容を見直し、説明を加え、新たに解題目録を発行することになりました。広く調査研究に役立てていただきたいと考えています。

また合わせて中央図書館では「浅野文庫の和書と漢籍」と題した企画展と講演会を行います。企画展では、普段見ていただけない和書と漢籍の原本を十数点展示し、ご紹介します。ぜひこの機会に、浅野文庫の収蔵品を通して和書と漢籍の世界にふれてみませんか？

平成26年度公益財団法人移行記念事業 企画展「浅野文庫の和書と漢籍」

- ◆期間 平成27年2月14日（土）～3月15日（日）
- ◆会場 中央図書館2階 展示ホール

講演会「浅野文庫の和書と漢籍」

- ◆講師 頼祺一氏（広島大学名誉教授、頼山陽史跡資料館館長）
磯部彰氏（東北大学教授）
- ◆日時 2月28日（土）13：30～16：30（13：00開場）
- ◆会場 中央図書館3階 セミナー室
- ◆定員 60名（要申込・先着順）
- ◆申込 中央図書館へ来館、電話、FAX、HPの専用フォームから
（2月1日（日）午前9時から受付開始）



「はちかづき」
（江戸時代中期）

30歳にいます ～安佐南区図書館～

安佐南区図書館は、昭和60（1985）年2月16日に3番目の区の図書館として開館し、今年30周年を迎えます。当時、周辺はほとんどが畑で本当に図書館を利用していただけなのか不安を抱えてのオープンでした。

その後、アジア大会の開催に向けた関連工事で町並みが整備され人口も増えたことにより、利用者の数も増えていきました。今では、年間約39万人の方に利用され、貸出冊数は市立図書館13館の中で最も多い年間約85万冊を数えるまでになりました。館内のカウンターも、多くの方が利用しやすいように大きくなり、表示もわかりやすいように工夫しています。



開館当初のカウンター



現在のカウンター

ところで、自動ドアを入ってすぐ左側にある“エコライフ資料コーナー”をご存知ですか？安佐南区図書館では、エコライフをテーマにした本を常設で展示しています。貸出しもできますので、ぜひ手に取ってみてください。

また、年に2～3回、エコライフ実践講座を開催しています。環境にやさしい掃除方法の紹介や新聞紙を用いたエコバック作り、古布での布ぞうり作りなど、日常生活に役立つ講座です。毎回、参加者のみなさまに喜んでいただいています。



エコライフ資料コーナー



「布ぞうり作り」の様子

さらに、毎年6月と12月には不要となった雑誌をお持ち帰りいただける「雑誌リサイクル」も開催しています。

ほかにも、乳幼児とその保護者が対象の「012才のおはなし会」（毎月第2土曜日・最終木曜日開催）では絵本の読み聞かせとわらべうたや手遊び、幼児と小学生が対象の「おはなし会」（毎月第3土曜日開催）では読み聞かせのほか、ストーリーテリングなども好評です。

これからも、身近な図書館として親しんでいただければ幸いです。職員一同、努力してまいります。皆様のご来館をお待ちしています。

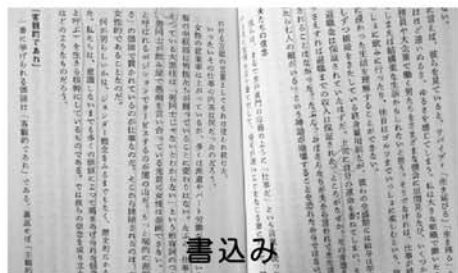
本が泣いています・・・大切に扱きましょう！！

図書館の本は市民の皆さんの共有財産です。利用していくうちに破損したり、自然に劣化していくこともありますが、汚されたり破られたりすることが起きています。どうか大切に扱っていただき、皆さんが気持ちよく利用できますよう、ご協力をよろしくお願い致します。



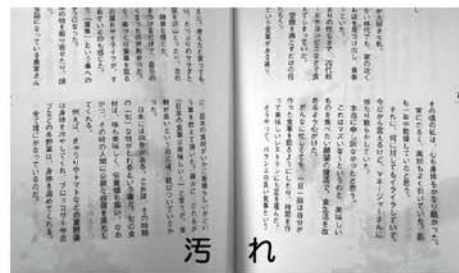
水濡れ

かびの原因になります。乾いてもページが波打って使えません。



書込み

線が引かれています。ご自分の本ではありません。



汚れ

食べたり飲んだりしながら、本を読むのはやめましょう。



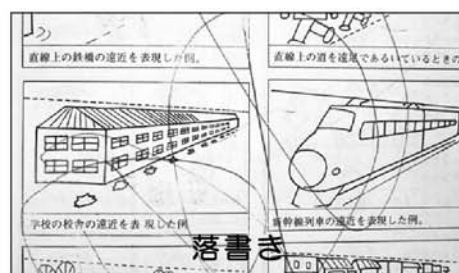
破れ

本の隅が破られて、次に使われる方が不快な思いをします。



切り取り

75p・76pが切り取ってあり、ページが飛んでいるため使えません。



落書き

本文が読めません。

図書館員のオススメ本

『展覧会をつくる 一枚の絵がここにくるまで』 足澤り子／著 柏書房

はるばる海を渡ってきた本物の絵を目の前にした時、人はその絵に出会えた喜びと心が揺さぶられるような感動を覚えることがあるのではないのでしょうか。

パリ在住の著者、足澤り子さんはフリーで展覧会やコンサート等様々な文化事業のコーディネートをされています。この本は、足澤さんの仕事とそれを通じて知り合われた方達との交流や、海外から作品を借用して、日本で開催される展覧会に関わる人達の奮闘が書かれています。

展覧会のコーディネートは、その時と場合によって全く異なりますが、学芸員が作成した展覧会のコンセプトを外国語に翻訳したり、作品の借用願いの作成や交渉の通訳等、多岐にわたります。そのため展覧会の準備が始まると、少なくとも三年はかかるそうです。特に作品の借用交渉では、移動に伴う破損や腐食、盗難等のリスクがあり、展覧会の主催者側と作品を貸し出す側は共に気の休まることはありません。熾烈な交渉になることもあり、準備の大変さがひしひしと伝わってきます。

多くの人に本物を見せたいという専門家や関係者の方々の並々ならぬ熱意と努力を知ったうえで展覧会に行くと、今までとは違う感じ方や発見があるかもしれません。



※この記事は広島市立図書館のメールマガジンに掲載されたものです。

広島市立図書館では月に一度メールマガジンを発行しておりますので、ぜひご登録ください。登録方法など詳しくはホームページをご覧ください。職員にお尋ねください。

特ダネスタッフ - 佐伯区図書館湯来河野閲覧室編 -

湯来地区には数多くの民話が伝承されており、平成5（1993）年にはその中から63の民話を集めた「湯来の民話」（編集：湯来町民話編集委員会 発行：湯来町教育委員会）が発行されています。

それをもとにボランティアさんが中心となって作成した手作り紙芝居が、現在23話完成しています。それらの紙芝居は、湯来河野閲覧室でのおはなし会や湯来町内外での読み聞かせなどで、広く皆さんに親しんでいただいています。現在のところ残念ながら貸出は行っていません。



「湯来の民話絵本」作成の様子

せっかくの紙芝居を、より多くの方に知っていただきたい、楽しんでいただきたいという思いから、今回、公益財団法人移行記念事業として、湯来の民話絵本3冊を発行しました。

23話ある紙芝居のうち絵本にした民話は、人々を困らせるいたずら狐をこらしめたという「湯ノ山狐」、怪我をした白サギが浸かった清水を掘ったところ湯が出てきたという「湯来温泉のはじまり」、弘法大師が名付けたという鍋石での話を集めた「鍋石の奇水」です。湯ノ山温泉・湯来温泉・鍋石という地名は今も残っているものばかりです。同じく公益財団法人移行記念事業として、当閲覧室1階視聴覚室で行っている「江戸の湯来を見る」パネル展示でご覧いただける「都志見往来諸勝図」（岡 岷山著）の中にも、江戸時代の湯ノ山温泉・湯来温泉・鍋石の様子が描かれています。

今回の民話絵本の編集企画には、ボランティアグループの“おはなしグループゆりちゃん”をはじめ、多くの方にご協力をいただきました。発行した民話絵本は、当閲覧室に備えるとともに、広島市立の全図書館、佐伯区内の公民館、佐伯区内の小中学校などに配布します。図書館では貸出も可能になりますので、最寄りの施設でぜひご利用ください。

休館日のお知らせ 1月～3月

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□は休館日

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

※佐伯区図書館湯来河野閲覧室 2月21日（土）～2月27日（金）

編集・発行

Hiroshima City Central Library
 広島市立中央図書館
 〒730-0011 広島市中区基町3-1
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542
 本の照会・相談専用 082(222)6440
 F A X 082(222)5545
 (携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)